

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

41
30

斉藤事務官・システムズ書記官会談

北米局長
参事官
北米課長

神繩に關する南米・アムステルダム合談

昭41.3.30
北米課(後録)

3月30日、在京米大使館アムステルダムは
南米事務官と来訪し、まず(1)3月18日の

安井総務長官の記者会見に關し、神繩の新聞に
報道されたこと、総務府から何の合見資料を
(別添1)

記者用に配布したものと、これを参考として
した旨、おま(2)3月30日付の東京新聞に
(別添2)

官房長官談話にて、衆院における神繩対策
特別委員会設置の実現に關する国会に

努力する旨述べたこと、
努力する旨述べたこと、
努力する旨述べたこと、
努力する旨述べたこと、

依頼越した。おま(1)に關しては、持速向に確認した後
有ったこと(知れり旨)

18日には記者会見に於て、アムステルダムは記者会見に
表現の自由を認めると述べた旨、アムステルダムは記者会見に
回答し、(2)に關しては、外務省に於ては持速向に確認した後、
回答した。

別添

沖新聞 3/19

四月訪沖を再検討

安井総務長官 記者会見



安井長官

【東京十九日電】安井総務長官は十九日、記者会見で四月の沖縄訪問を再検討する旨を述べた。

安井長官は十九日午後、首相官邸で記者会見を開き、四月の沖縄訪問について、再検討する必要があると述べた。長官は、四月の沖縄訪問は、従来通り四月に行われる予定だったが、最近の沖縄情勢を考慮し、再検討が必要であると述べた。また、長官は、四月の沖縄訪問は、従来通り四月に行われる予定だったが、最近の沖縄情勢を考慮し、再検討が必要であると述べた。

琉球新報 昭和十九年三月十九日

来月中旬以降に日米協

議題は長期経済計画

【東京十九日電】安井総務長官は十九日、記者会見で来月中旬以降の日米協定交渉の議題について述べた。

安井長官は十九日午後、首相官邸で記者会見を開き、来月中旬以降の日米協定交渉の議題について述べた。長官は、来月中旬以降の日米協定交渉の議題は、長期経済計画であると述べた。また、長官は、来月中旬以降の日米協定交渉の議題は、長期経済計画であると述べた。

行なわれている。しかし、交渉は、日米協定交渉の議題は、長期経済計画であると述べた。また、長官は、来月中旬以降の日米協定交渉の議題は、長期経済計画であると述べた。

別
洋
2

東京新聞 3/30

次の国会で設置へ
参院の沖縄対策特別委

参院の良、社会、公明の三派の参院議員間で話し合
は二十九日午後五時から参院の参院議員間で話し合
院議員接見室で三派議員、議員会は、さる十五日の取
合、国会対策委員長会談を、次の国会の冒頭、他の特別委
会、さる十五日、自、社、両党間で、国会議員のとき
申し合わせた沖縄対策特別委員会、努力する、一、こ
た、各党ともこれを賛成し法案の
通過を促進することとした。

11

11